

医療連携体制の強化



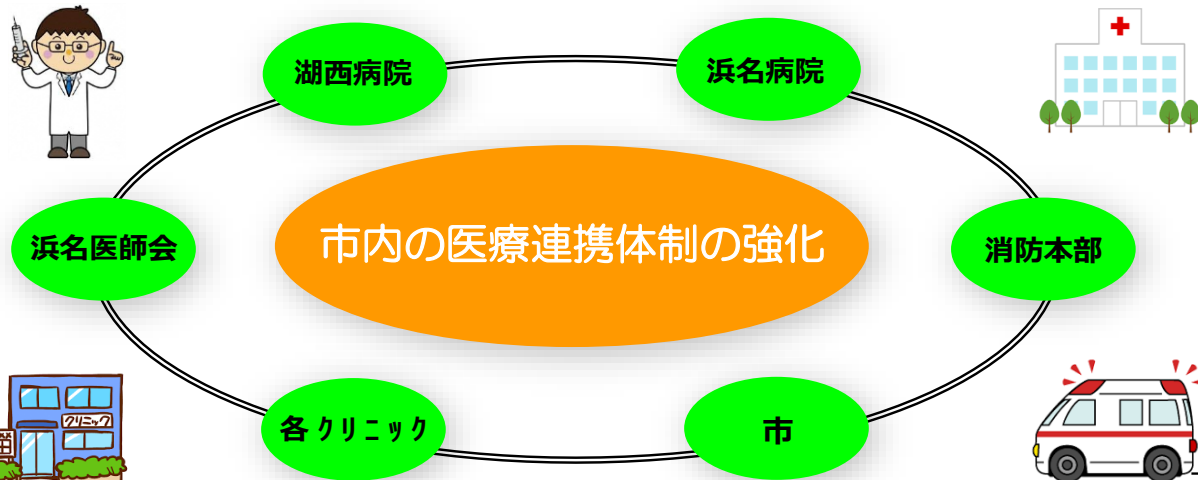
市内・市外の医療機関との連携を強化し、持続可能な地域医療提供体制を構築

市内医療機関との連携

○市立湖西病院、浜名病院、浜名医師会、市内各クリニック、消防本部、湖西市が連携して、**チーム湖西**として**市内の医療連携体制を強化**

<連携事項>

- ①救急医療体制の構築
- ②各医療機関の役割分担の明確化
- ③病院間の医療従事者の受け入れ体制の構築
- ④定期的な打合せによる連携強化



市外医療機関との連携

○市立湖西病院と浜松医療センターは、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、令和4年11月25日に**連携協定を締結**

<連携事項>

- ①病院間の機能分化
 - ・高度急性期医療患者と回復期・リハビリ患者の相互受け入れ
- ②医療従事者の派遣等（医療センター ⇒ 湖西病院）
 - ・外来診療医や研修医の派遣
 - ・助産師派遣による妊産婦健診機能の充実
- ③看護師の確保・育成
 - ・浜松市立看護専門学校との連携

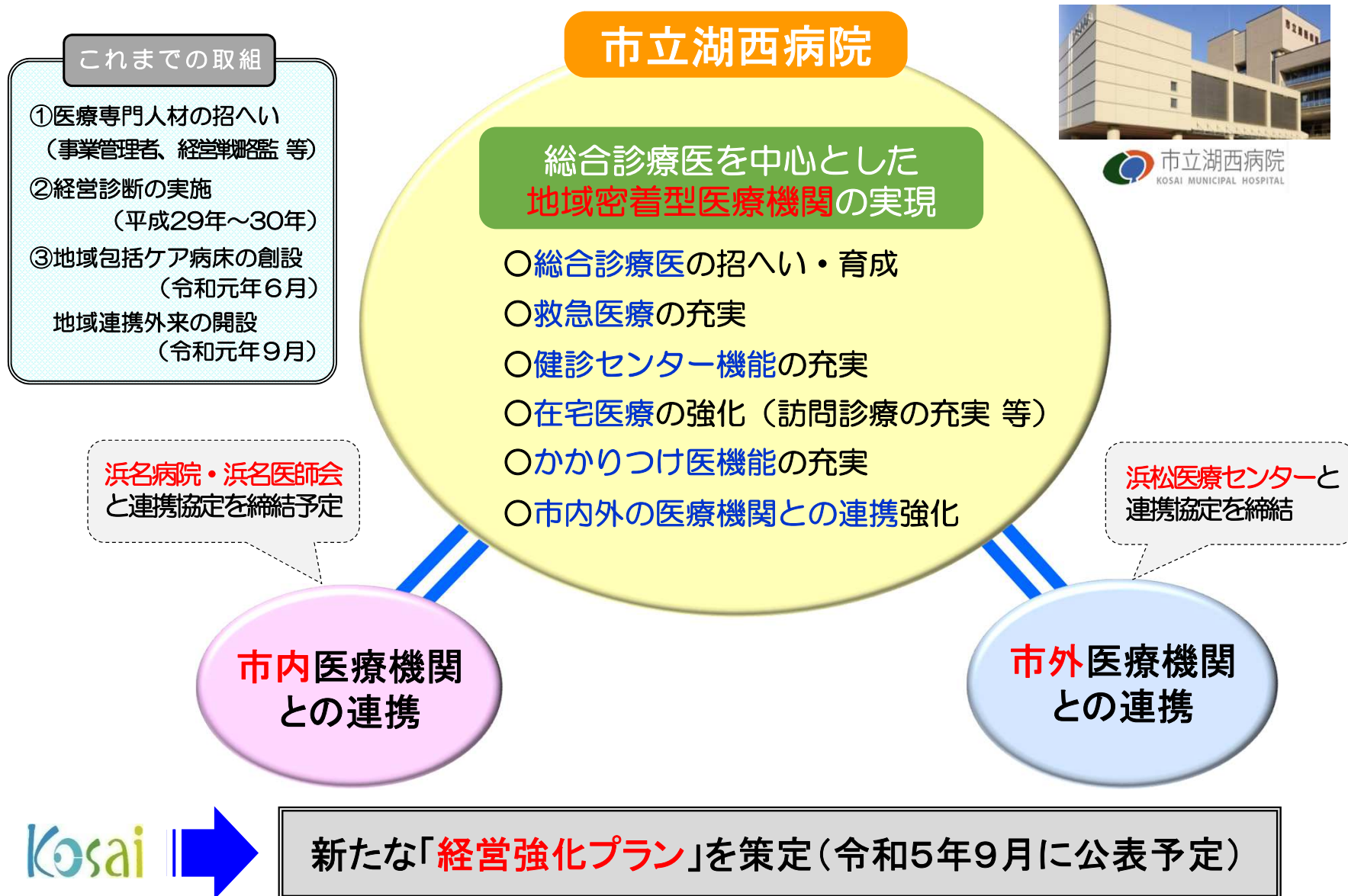
市立湖西病院



浜松医療センター



持続可能な地域医療提供体制の構築



子育てにやさしいまちづくりの推進

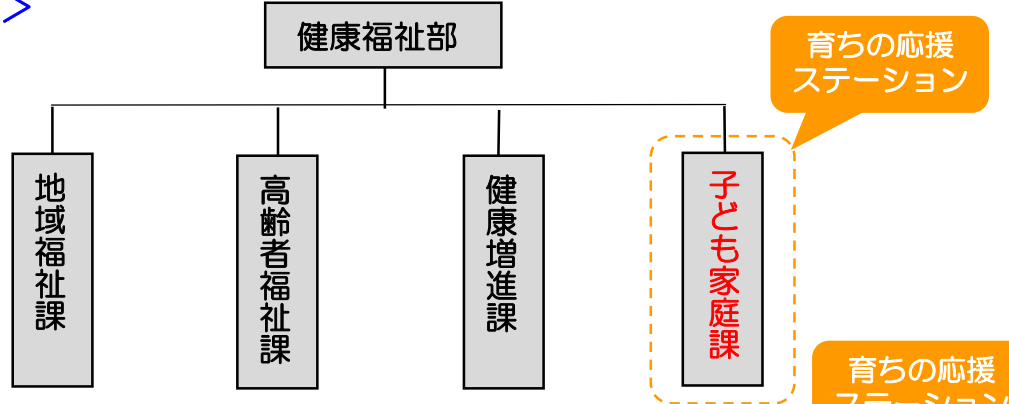


子育て支援施策の推進体制を強化するため「こども未来部」を新設し、育ちの応援ステーションの取組を拡充

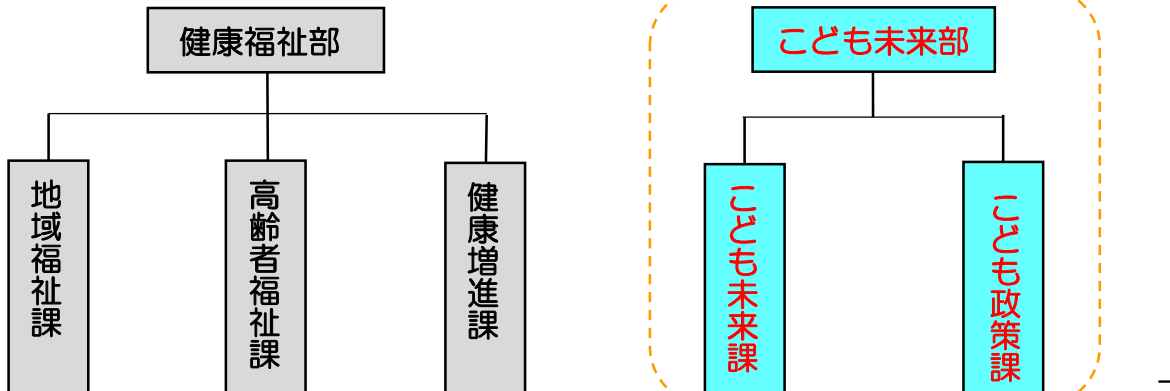
組織の改編

○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う組織として、「こども未来部」を新たに設置

<令和4年度>



<令和5年度>



令和5年度の新たな取組



① 発達に課題のある児童への支援の強化

○令和4年度末閉園の新所幼稚園を市内2つ目の「地域子育て支援拠点」として整備し、「発達相談支援拠点」の機能を付加

<令和5年度～>

- 施設の改修（設計・工事等）
- 職員の専門的スキル習得のための研修（浜松市・豊橋市への派遣）
- 西部地域に市内3つ目の「地域子育て支援拠点」設置の検討

② 産前産後ケアの充実

○妊娠期から出産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産前産後をケアする事業の充実を図る。



<令和5年度～>

- 家事援助ヘルパー利用料補助制度を新設
- 「のびのび預かり保育」の対象を満1歳以上に拡充

<出産・子育て応援事業>

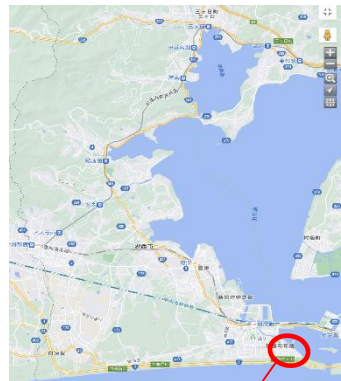
- 伴走型相談支援
妊娠期から出産・子育て期まで3回の面談を実施
- 経済的支援
妊娠時と出産後に計10万円給付

観光振興の推進（新たな観光拠点の整備）

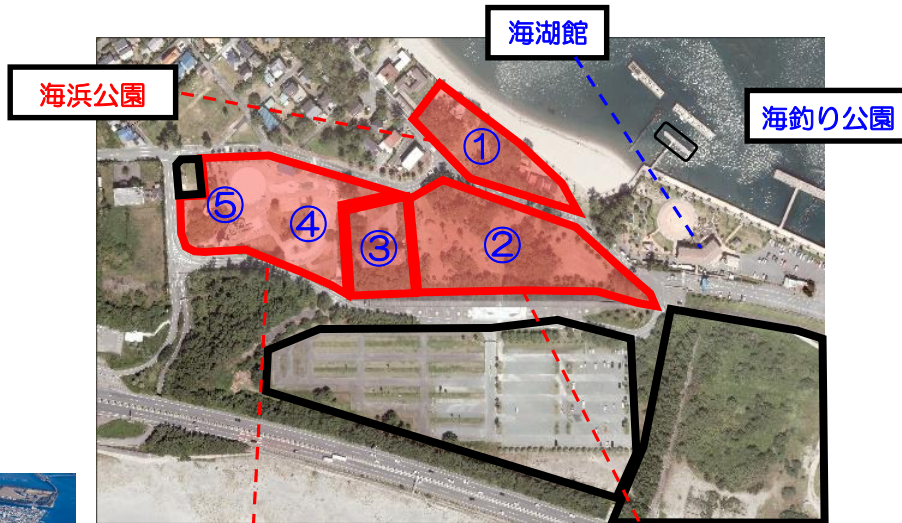
新居弁天公園を年間を通じて賑わいが生まれ、市内外から人が集う魅力のある観光拠点に再整備
⇒ 新居弁天地域から新居宿場、さらに湖西市全域とつながる回遊ルートを構築し、観光振興を推進

新居弁天公園の再整備

対象地域 海釣り公園と海湖館に隣接する海浜公園、
熱帯植物園、旧わんぱくランドの跡地



新居弁天公園



海浜公園

海湖館

海釣り公園

旧わんぱくランド

熱帯植物園



整備計画

① イベントマルシェエリア

- キッチンカーと飲食ベンチスペースを設置
- 地元グルメや農産物等を販売するマルシェを開催



②③ キャンプエリア・林間ピクニック広場

- 通常のビジターキャンプエリア、車が入れるオートキャンプエリア、ペット同伴キャンプエリアを整備



④ センターエリア・ドッグランエリア

- ランドマークとなるカフェ併設のセンターハウスの他、イベントスペース、飲食ベンチスペースを設置
- 複数のドッグランと温泉足湯を整備



⑤ 駐車場エリア

- 200台分の駐車場を整備。公園来場者の他、釣り客等も利用可能

スポーツによる地域活性化



学校部活動の地域移行を契機に、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進

学校部活動の地域移行への対応

○公立中学校の休日の運動部活動を令和5年度から段階的に地域移行（令和5年度から7年度は「改革推進期間」）

<主な課題>

- ①受け皿となるスポーツ団体等の整備
- ②スポーツ指導者の質・量の確保
- ③スポーツ施設の確保 等



地域のスポーツ団体・指導者等と学校との連携・協働を推進

対応

- ◎スポーツクラブ等の各種団体、指導者、学校等の関係者による検討会を開催（令和5年度から）
⇒ アンケートの実施、課題の検討、連携・協働の推進
- ◎ジュニアスポーツクラブへの参加の促進
⇒ 軟式野球、硬式野球、サッカー、陸上、柔道、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール

スポーツによる地域活性化への取組

湖西市スポーツビルドアッププロジェクト

○プロスポーツ団体等と連携し、市民がスポーツを「する」「観る」「支える」で築き上げ（ビルドアップ）、地域活性化につなげる。

健康講座
（スポーツ食育・ストレッチ）
<新>
ゴールデンエイジのための栄養教室

親子体験教室
学校訪問（技術指導）
放課後わくわく子ども教室

ホームマッチ
（市民招待・市PR事業）

イベントへの参加・協力
応援コラボグッズの作成

「する」

「観る」

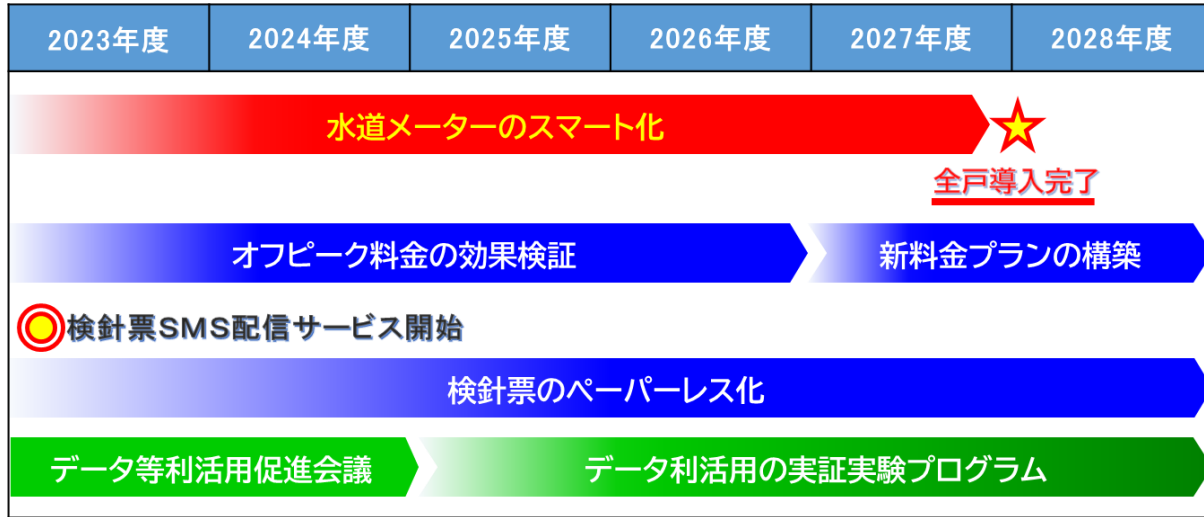
「支える」



市内全域水道メーターのスマート化(DX推進)

水道業務の効率化・市民サービスの向上を図るため、市内全ての水道メーターを令和9年度までにスマート化
⇒時間帯別の水道料金プラン(オフピーク料金制)、検針票の電子化(ペーパーレス化)、データ利活用を推進

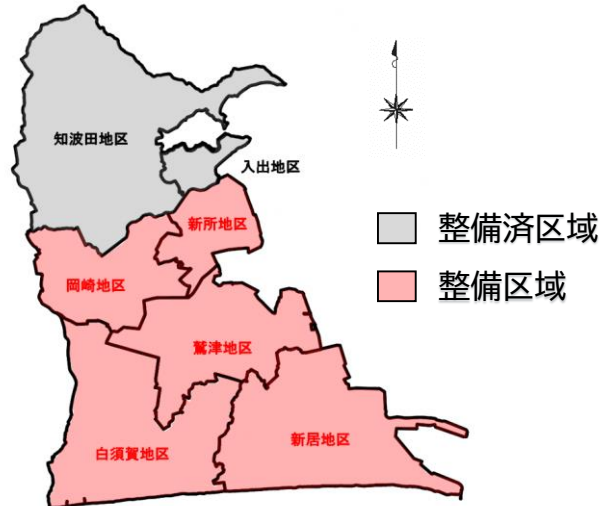
水道メーター スマート化計画(市内全域化)



整備概要

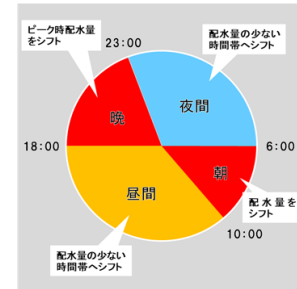
- 整備期間:
令和5年度～9年度
- スマートメーター:
約23,700個

※スマートメーター整備済数:
約1,895個(令和5年1月末現在)



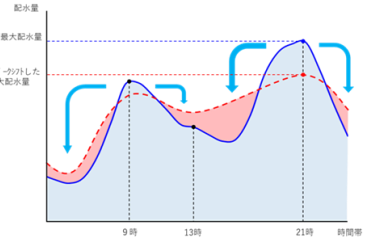
① 時間ごとの使用水量データによる水道料金プランを創設します

新たな料金負担



利用者の意識・生活行動に変化

配水量の変化



生活行動の変化により配水量の平準化に期待

② 全ての検針票を電子化し、業務のペーパーレス化を進めます



「紙のお知らせ」から「SMS配信サービス」に切り替え

③ 検針データを活用した新たな地域サービスを検討します

【事業効果】

- 将来の機器購入費・通信費の価格低下や、検針員等の人件費・検針機器費・検針票郵送費・漏水調査費等の削減により、年間約100万円の費用効果
- 大幅な検針時間の短縮で、業務を迅速化・効率化
- 漏水判定のデジタル化で、発見件数が向上

● 検針時間※ 5,676時間 ⇒ **60分に短縮**

● 検針員数 20人 ⇒ **0人**

※年間の延べ時間

検針員による漏水判定
漏水発見件数(令和2年度実績)
2.6件/月

自動検針による漏水判定
漏水発見件数(令和4年度実績)※
8件/月

※北部地区の実績

➢ 少子高齢化などの地域課題へデータを活用し、社会保障費の削減に期待

令和5年度の組織体制について

1 基本方針

職住近接の推進による『持続可能なまちづくり』の実現に向け、各事業に戦略的に取り組むとともに、広域的な課題や多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、市民サービスの更なる向上を目指して組織を改編することとする。

2 概要

【環境部】《環境課》

- 湖西市版ゼロカーボンシティの構築に向けた取組を加速するため、体制の充実及び強化を図る。
 - 「脱炭素推進係」を新設する。

【健康福祉部】《健康増進課》

- アフターコロナを見据えて、感染予防対策を継続するとともに、市内外の医療機関の連携・役割分担を深め、本市の地域医療の充実を図る。
 - 「健康管理係」と「感染対策係」を統合し、「健康政策係」に改める。

【こども未来部】（新設）

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供し、こども関連施策に一層重点的に取り組むため、「こども未来部」を新設し、「子ども家庭課」の業務を次の組織で対応する。

《こども政策課》

- こども政策に関する企画立案・調整のほか、各種手当・給付金関係事務を行う。
 - 「こども政策係」を設置する。

《こども未来課》

- こどもや家庭に関する相談体制の充実を図り、子育て期における包括的な支援を行うとともに、地域の子育て拠点の場を提供する。
 - 「家庭児童相談係」、「子育て応援係」、「発達支援係」、「子育て支援センター係」を設置する。